

令和2年度 4年 道徳授業の略案

月日 (校時)	資料名	主題名	発行所
9月16日 (水) (3校時)	泣いた赤おに	友だちを大切に	光村図書
ねらい 青おにの自分に対する思いに気づいた赤おにの姿を通して、友だちを大切にすることについて考えさせ、友だちとよりよい関係を築き、互いに理解し、信頼し合おうとする心情を育てる。			価値項目 友情・信頼 B-(9)
展開	学習内容	留意事項・評価	
導入	<p>○ 自分にとって、友だちってどんな人ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲良くしてくれる人 ・困った時に助けてくれる人 ・相手も自分を友だちだと思ってくれる人 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にとっての友だち、友だちの考える友だちについて伝え合い、資料につなぐ。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>課題 友だちとよりよい関係をつくっていくために大切なことは、どのようなことだろう。</p> </div>			
展開	<p>資料「泣いた赤おに」を読み、今日の課題と学習方法を確認する。 ◆赤おにの気持ちを考えながら、友だちを大切にすることについて話し合う。</p> <p>○第1発問 人間の友だちができたとき、赤おには、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間と友だちなれうれしい ・さみしくなくなった ・心がかかりなこと(気がかり)もある など 発問2につなぐ <p>○第2発問 赤おには、張り紙を読み、しくしくと泣きながら、どんなことを思ったでしょう。</p> <p>◎第3発問 ・友だちとよりよい関係をつくっていくために大切なことは？</p> <p>自 : 自分の考えをもつ ノート → 付せん 班 : 対話を通して考えを伝え合う →付せんをもとにWBを活用して伝え合う (理由や気づきも伝え合う) 全体 : ぐるぐるタイムで、各班の学びを見合う 自分の気づきや自己の考えを伝える 友だちの気づきや考えを聞き深める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料範読 ・挿絵活用 ・第3発問を主活動とするため、第1、2発問について関連的に進める。 ・青おにとの対比 ・進行は、学習リーダーが行う。 ・2種類のラミネート付せんを準備 【教師の役割】 ・道徳的価値につなげたり、引き出したりするための問いかけ 	
振り返り	◆今日の学習を通して、友だちとよりよい関係をつくっていくために大切なことについて、自分の思いを書く。	<p>価値の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の考えの変容 ・真の友だちとは <p>【段階的評価の視点】 表面的→抽象的→道徳的価値</p>	
終末	○「ともだちは海のにおい」を紹介する		